

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
日本理工情報専門学校	昭和52年4月1日	瓶井 修	〒533-0015 大阪市東淀川区大隅 1-1-25 (電話) 06-6329-6553			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人瓶井学園	昭和58年9月26日	瓶井 剛	〒533-0011 大阪市東淀川区大桐2丁目6-6 (電話) 06-6329-6553			
目 的	工事担任者DD第一種が取得でき電子回路技術を習得して、その資格・技術を活かせる職業に就くことができる技術者の育成を目的としている					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	電子情報工学科 Aコース	2年(昼間部)	2808単位時間 (又は単位)	平成19年文部科学 大臣告示21号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	2184単位時間 (又は単位)	390単位時間 (又は単位)	390単位時間 (又は単位)	663単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	2人	2人	9人	11人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日 ■			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 年間4回の定期試験 実習・演習の評価	
長期休み	■学年始め：4月15日 ■夏 季：7月21日～8月31日 ■冬 季：12月25日～1月7日 ■学 年 末：3月15日 ■学年始め：			卒業・進級条件	履修科目の全単位取得	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡・警告文送付・保護者懇談			課外活動	■課外活動の種類 電力施設見学 ■サークル活動 (有・無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 ■就職率 ^{※1} % ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} % ■その他(任意) (平成27年度卒業者に関する平成28年3月時点の情報)			主な資格・検定	工事担任者DD第一種	

中途退学の現状	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0%</p> <p>平成27年4月 1日在学者 2名 (平成27年4月入学者を含む)</p> <p>平成28年3月31日在学者 2名 (平成28年3月卒業者を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>■中退防止のための取組</p> <p>1時間目に欠席学生の自宅に電話し登校を促す。成績不振の学生への補習授業の実施 退学希望の学生に対し担任・責任者等3名以上が順に面談し翻意を促す</p>
ホームページ	URL: http://www.nrj.ac.jp

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

岡本無線電機株式会社等の企業においてヒヤリングを行い教育課程編成委員会に諮り、企業のニーズに応える事ができる人材の育成に必要な内容を授業に反映させている。また、企業による実務に必要な知識習得のための演習や現場における体験実習を重視し授業科目に組み入れ易くするため授業時間割を1カ月ごとに組み替えるようにしている。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年4月2日現在

名 前	所 属
清水 政仁	一般社団法人情報通信エンジニアリング協会
小島 孜	公益社団法人 日本建築家協会近畿支部
糸尾 武則	自動車整備振興会高槻・三島地区会
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合
小林 敬一郎	神戸医療福祉大学
小西 敏仁	ネットヨタニューリー北大阪株式会社
宮崎 吉雄	トナミ電工(株)
宮崎 一郎	トナミ電工(株)
増南 正	(有) スタジオ・マックス
石上 芳弘	インウエヨシヒロ建築設計事務所
井端 賢次	テクノメック合資会社
篠原 史規	(有) 車楽工房
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社
壺井 啓太	株式会社ジェイファスト

(開催日時)

平成27年度

平成28年度

第1回 平成27年4月4日 13:30~15:00

第1回 平成28年4月2日 13:30~14:50

第2回 平成27年10月31日 13:30~14:50

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実務に必要な知識習得のための演習や現場における体験実習をできる限り組み入れ、学生が就業するであろう業界の実務の仕組みや技術レベルを知り、より適性のある職業を学生が選択でき実社会で活躍できることを望んでいる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
演習	工業用ロボットについて操作、保守、点検に関して小型ロボットを校内に搬入して実習する	カワサキロボットサービス株式会社
データ通信工学	光ファイバーケーブルの接続(クロージャー・融着)技術の実習、電柱・梯子の昇降・屋根への昇降実習、光プレミアムPCセットアップ実習を行い、学内では体験できない電気通信建設業での実務を体験する。	(社)情報通信エンジニアリング協会

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

(一社)大阪府専修学校各種学校連合会の主催する教職員のための指導力向上講座や外部団体・企業・大学等が主催する講習、講演について事務局が全員に周知・奨励を行っている。

希望者がいない場合は担当課長が指名して参加者を決める。

参加費用は全額学校が負担している。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年4月2日現在

名 前	所 属
宮崎 吉雄	トナミ電気株
増南 正	(有) スタジオ・マックス
小島 孜	公益社団法人 日本建築家協会近畿支部
石上 芳弘	イシウエヨシヒロ建築設計事務所
蔵敷 重壽	元 大阪市教育委員会事務局 高等学校教育課長
篠原 史規	(有) 車楽工房
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社
壺井 啓太	株式会社ジェイファスト
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合

(学校関係者評価結果の公表方法)

ホームページに公表

URL: <http://www.nrj.ac.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

ホームページ・学校案内

URL: <http://www.kamei.ac.jp/>

授業科目等の概要

(工業専門課程電子・情報工学科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			物理	前期は半導体、後期は電子管の基礎的事項及び応用について学びます。項目として、電子の性質、電子放出、電子の運動、空間電荷効果、電子管、放電現象、応用として第2級陸上無線技術士試験問題が解答できる能力を身につけます。	1	117	3	○		
○			英語	英語教育を通して、国際感覚を身につけ、マニュアル等の未知の英文を自力で読破できる能力を身につけることが目的です。	1	78	2	○		
○			数学	因数分解、複素数の計算、2次方程式、不等式、三角関数、ベクトル、指数関数、対数関数、微分、積分などを学び、電気、電子の基礎解析に呼応し得る能力を身につけます。	1	156	4	○		
○			電気磁気学	静電気学及び、磁気学を中心に、クーロン力、電界、電位、静電容量、誘電体、電流と抵抗、磁界、電磁誘導、インダクタンス、磁性体を学ぶ	1	156	4	○		
○			電子工学 I	電子物理、電子回路、電子装置、電子応用の項目のうち、ここでは、電子物理、電子回路を中心に扱います。	1	156	4	○		
○			電気回路	交流回路の導入として、直流回路を学び問題を演習します。交流については、正弦波交流、インピーダンス交流、電力、相互誘導、ベクトル軌跡等を学ぶ。	1	156	4	○		
○			電気磁気測定	測定値の取扱、各種の指示電気計器、検流計の原理（電流、電圧、電力、位相、周波数、電気抵抗、インダクタンス、静電容量、波形、磁気）の測定法について学ぶ	1	195	5	○		
○			電波法規	電波の種類、各業務の運用、無線局免許、無線従事者の免許、各局の業務書類等を学びます。	2	39	1	○		
○			無線機器 I	AM・FMIについての基本を包括的に解説します。また、電波航法について学びます。	2	78	2	○		

○		電子工学Ⅱ	電子回路の設計と製作実習を行う。	2	39	1			○
○		電気工学Ⅰ	第二種電気工事士国家試験科目に準じて配電理論、電気機器、工具、材料、施工法、法規、配電図、鑑別等を学びます。	1	39	1	○		
○		電波工学Ⅰ	空中線系の基礎的原理及び空中線の構造などを包括的に解説します。	2	39	1	○		
○		画像工学	最新のディスプレイの動作原理と基本構成及び動向について学びます。	2	39	1	○		
○		無線測定Ⅰ	各周波数帯における測定の基礎理論及び測定器について包括的に解説します。	2	39	1	○		
○		情報工学Ⅰ	Microsoft Word 及び Excel を用いて課題作成やプログラム制作を行います。また、計算機の基礎構成や動作の仕組みについて学ぶ	1	156	4	○		△
○		システムプログラミング	C言語を使い、コンピュータシステム等の構築をプログラミングします。	2	78	2	○		△
○		有線電気通信工学	主に、電話通信について概論的に講義を進めます。内容は、電送理論、電話機理論、通信網、交換方式、変調方式、中継方式、各種搬送電話方式（光ファイバーケーブルを含む）	1	39	1	△		○
○		データ通信工学	コンピュータに電気通信回路を接続して、データ処理とデータ伝送を一体として行う方式のについての実習を行う。	1	39	1	△		○
○		デジタル回路	デジタル回路の基礎である論理回路について学びます。基本項目としては、基数の変換、各種コード、ブール代数、KARNAUGH 図法、各種組み合わせ論理回路について学びます	1	78	2	○		△
○		実験実習Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ	基礎専門科目において学んだ理論を、さらに実験を行う事によって具体的に理解を深めていきます。	2	390	10	△		○
○		マルチメディア概論	マルチメディアの最先端について実習をまじえて学びます。	1	39	1	○		△

○	電子工学Ⅲ	基礎となる電気回路、電子回路、論理工学の知識を元にしてゲートICについての基本的特性、諸特性について講義します。また、基本的な回路を構成してその実習も行います。	2	78	2	○		△
○	無線機器Ⅱ	AM・FMについてより詳しく解説します。	2	39	1	○		
○	無線機器Ⅲ	第2級無線技術士の範囲のマイクロ波について詳説します。	2	39	1	○		
○	無線機器Ⅳ	特殊無線技士の範囲についてのマイクロ波工学を学習します。	2	78	2	○		
○	電気工学Ⅱ	第一種電気工事士国家試験科目に準じて配電理論、電気機器、工具、材料、施工法、法規、配電図、鑑別等を学びます。	2	39	1	△		○
○	電波工学Ⅱ	空中線系の応用原理及び空中線の構造などを詳細に解説します。	2	39	1	○		
○	無線測定Ⅱ	各周波数帯における測定の応用理論及び測定器について詳細に解説します。	2	39	1	○		
○	有線テレビジョン放送技術者法規	第2級有線テレビジョン放送技術者資格認定用の法規を学習します。	2	39	1	○		△
○	アナログ工学	オペアンプの原理と使い方を基本として、基本回路の理解と応用回路へのアプローチを実習を通して学習します。	2	39	1	△		○
○	制御工学	前期にはシーケンス制御を、後期にはフィードバック制御を、基本となる事項について、シーケンス制御とフィードバック制御の有機的結合を考慮しながら包括的に学習します。	2	39	1	△		○
○	オプトエレクトロニクス	光センサーに関する基礎知識である原理・特性を解説し、無線機器に組み込むための実装技術について学習します。	2	78	2	○		△
○	Webプログラミング	Webを運用するために必要なJavaScriptやCGI/SSI技術などホームページの総合的なデザイン/プログラミングの基礎を学びます。	2	78	2			○

○	モバイル通信	移動体通信のあらましや、端末技術及びそれに関連する無線設備等の動作について学びます。	2	39	1	○		
○	デジタル放送	デジタル放送技術について学びます。	2	39	1	△		○
○	デジタル設計	演算回路や記憶回路など、実際に使用されるデジタル回路の設計制作を学習します。	2	78	2	△		○
○	デジタルオーディオ工学	デジタルオーディオ技術や圧縮技術について学びます。	2	39	1	○		
○	デジタルビデオ工学	デジタルビデオ技術について、原理から構造まで学びます。	2	39	1	○		
○	照明工学	テレビ舞台における照明の知識、映像音響における照明の効果等ライティングエンジニアとしての基礎知識を学びます。	2	39	1			○
○	音声／録音技術論	音響設備の性能、音響機器の特性、スタジオ、ホール、PAシステムの運用に必要な知識、ミキシング、ミックスダウン、トラックダウン等の録音技術について学びます。	2	78	2			○
○	映像／録画技術論	映像設備の性能、画面構成、視覚的効果、番組編成等の番組制作に必要な知識、カメラワーク、スイッチング技法、編集技法、特殊効果について学びます。	2	78	2			○
○	シナリオ基礎	シナリオの役割、特性、重要性を理解し、シナリオの見方、使い方を学びます。	2	39	1			○
○	アナウンス基礎	日本語、標準語、発声、音声表現方法などアナウンスの基礎を学び、音響映像制作における発声の重要性を習得する。	2	39	1			○
○	スタジオ施工技術	スタジオの構成、役割などを学びます。	2	39	1			○
○	写真技術論	写真技術やデジタル技術について学びます。	2	39	1			○

	○		広告論	広告の必要性・経済学、注目できる広告など幅広く学びます。	2	78	2		○	
	○		音楽通論	音楽の基礎理論とMIDIなどデジタルサウンドについて学びます。	2	78	2		○	△
	○		演出技法	テレビ番組制作の手順、用語、演出方法に関する知識を身につけます。	2	39	1		○	
	○		デザイン総論	デザインの技法・考え方などデザイン全般について学びます。	2	39	1		○	
	○		演習	技術者として社会に適應できる能力、常識・技術を学習します。	2	39	1		○	△
合計					50 科目		3627 単位時間 (89 単位)			

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
日本理工情報専門学校	昭和52年4月1日	瓶井 修	〒533-0015 大阪市東淀川区大隅 1-1-25 (電話) 06-6329-6553			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人瓶井学園	昭和58年9月26日	瓶井 剛	〒533-0011 大阪市東淀川区大桐2丁目6-6 (電話) 06-6329-6553			
目 的	工事担任者DD第一種が取得でき電子回路技術を習得して、その資格・技術を活かせる職業に就くことができる技術者の育成を目的としている					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	電子情報工学科 Bコース	2年(昼間部)	2808単位時間 (又は単位)	平成19年文部科学 大臣告示21号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	2184単位時間 (又は単位)	429単位時間 (又は単位)	390単位時間 (又は単位)	1014単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	12人	2人	9人	11人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日 ■			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 年間4回の定期試験 実習・演習の評価	
長期休み	■学年始め：4月15日 ■夏 季：7月21日～8月31日 ■冬 季：12月25日～1月7日 ■学 年 末：3月15日 ■学年始め：			卒業・進級条件	履修科目の全単位取得	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡・警告文送付・保護者懇談			課外活動	■課外活動の種類 電力施設見学 ■サークル活動 (有・無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 メンテナンスエンジニア ■就職率 ^{※1} 60% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} 55% ■その他(任意) (平成27年度卒業者に関する平成28年3月時点の情報)			主な資格・検定	工事担任者DD第一種	

中途退学の現状	<p>■中途退学者 1名 ■中退率 8.3%</p> <p>平成27年4月 1日在学者 12名 (平成27年4月入学者を含む)</p> <p>平成28年3月31日在学者 11名 (平成28年3月卒業者を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>大学へ転校</p> <p>■中退防止のための取組</p> <p>1時間目に欠席学生の自宅に電話し登校を促す。成績不振の学生への補習授業の実施</p> <p>退学希望の学生に対し担任・責任者等3名以上が順に面談し翻意を促す</p>
ホームページ	URL: http://www.nrj.ac.jp

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

岡本無線電機株式会社等の企業においてヒヤリングを行い教育課程編成委員会に諮り、企業のニーズに応える事ができる人材の育成に必要な内容を授業に反映させている。また、企業による実務に必要な知識習得のための演習や現場における体験実習を重視し授業科目に組み入れ易くするため授業時間割を1カ月ごとに組み替えるようにしている。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年4月2日現在

名 前	所 属
清水 政仁	一般社団法人情報通信エンジニアリング協会
小島 孜	公益社団法人 日本建築家協会近畿支部
糸尾 武則	自動車整備振興会高槻・三島地区会
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合
小林 敬一郎	神戸医療福祉大学
小西 敏仁	ネットヨタニューリー北大阪株式会社
宮崎 吉雄	トナミ電工(株)
宮崎 一郎	トナミ電工(株)
増南 正	(有) スタジオ・マックス
石上 芳弘	インウエヨシヒロ建築設計事務所
井端 賢次	テクノメック合資会社
篠原 史規	(有) 車楽工房
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社
壺井 啓太	株式会社ジェイファスト

(開催日時)

平成27年度

平成28年度

第1回 平成27年4月4日 13:30~15:00

第1回 平成28年4月2日 13:30~14:50

第2回 平成27年10月31日 13:30~14:50

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実務に必要な知識習得のための演習や現場における体験実習をできる限り組み入れ、学生が就業するであろう業界の実務の仕組みや技術レベルを知り、より適性のある職業を学生が選択でき実社会で活躍できることを望んでいる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
制御工学	駐車場設備の工事・保守・点検に必要な技術についてタイムズサービスの研修施設において実習する	パーク24株式会社
演習	工業用ロボットについて操作、保守、点検に関して小型ロボットを校内に搬入して実習する	カワサキロボットサービス株式会社
データ通信工学	光ファイバーケーブルの接続(クロージャー・融着)技術の実習、電柱・梯子の昇降・屋根への昇降実習、光プレミアムPCセットアップ実習を行い、学内では体験できない電気通信建設業での実務を体験する。	(社)情報通信エンジニアリング協会

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

(一社)大阪府専修学校各種学校連合会の主催する教職員のための指導力向上講座や外部団体・

企業・大学等が主催する講習、講演について事務局が全員に周知・奨励を行っている。
希望者がいない場合は担当課長が指名して参加者を決める。

参加費用は全額学校が負担している。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年4月2日現在

名 前	所 属
宮崎 吉雄	トナミ電気(株)
増南 正	(有) スタジオ・マックス
小島 孜	公益社団法人 日本建築家協会近畿支部
石上 芳弘	イシウエヨシヒロ建築設計事務所
蔵敷 重壽	元 大阪市教育委員会事務局 高等学校教育課長
篠原 史規	(有) 車楽工房
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社
壺井 啓太	株式会社ジェイファスト
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合

(学校関係者評価結果の公表方法)

ホームページに公表

URL: <http://www.nrj.ac.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

ホームページ・学校案内

URL: <http://www.kamei.ac.jp/>

授業科目等の概要

(工業専門課程電子・情報工学科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			物理	前期は半導体、後期は電子管の基礎的事項及び応用について学びます。項目として、電子の性質、電子放出、電子の運動、空間電荷効果、電子管、放電現象、	1	117	3	○		
○			数学	因数分解、複素数の計算、2次方程式、不等式、三角関数、ベクトル、指数関数、対数関数、微分、積分などを学び、電気、電子の基礎解析に呼応し得る能力を身につけます。	1	156	4	○		
○			英語	英語教育を通して、国際感覚を身につけ、マニュアル等の未知の英文を自力で読破できる能力を身につけることが目的です。	1	78	2	○		
○			電気磁気学	静電気学及び、磁気学を中心に、クーロン力、電界、電位、静電容量、誘電体、電流と抵抗、磁界、電磁誘導、インダクタンス、磁性体を学ぶ	1	156	4	○		
○			電気回路	交流回路の導入として、直流回路を学び問題を演習します。交流については、正弦波交流、インピーダンス交流、電力、相互誘導、ベクトル軌跡等を学ぶ。	1	156	4	○		
○			電子工学 I	電子物理、電子回路、電子装置、電子応用の項目のうち、ここでは、電子物理、電子回路を中心に扱います。	1	156	4	○		
○			電気磁気測定	測定値の取扱、各種の指示電気計器、検流計の原理（電流、電圧、電力、位相、周波数、電気抵抗、インダクタンス、静電容量、波形、磁気）の測定法について学ぶ	1	195	5	○		
○			電気工学 I	第二種電気工事士国家試験科目に準じて配電理論、電気機器、工具、材料、施工法、法規、配電図、鑑別等を学びます。	1	39	1	○		
○			デジタル回路	デジタル回路の基礎である論理回路について学びます。基本項目としては、基数の変換、各種コード、ブール代数、KARNAUGH 図法、各種組み合わせ論理回路について学びます	1	78	1	○		△

○			電子工学Ⅱ	電子回路の設計と製作実習を行う。	2	39	1			○
○			有線電気通信工学	主に、電話通信について概論的に講義を進めます。内容は、電送理論、電話機理論、通信網、交換方式、変調方式、中継方式、各種搬送電話方式（光ファイバーケーブルを含む）など、工事担任者資格試験受験に必要な講義を行います。	1	39	1	△		○
○			データ通信工学	コンピュータに電気通信回路を接続して、データ処理とデータ伝送を一体として行う方式の基礎について学びます。工事担任者資格試験受験に必要な講義を行います。	1	39	1	△		○
○			マルチメディア概論	マルチメディアの最先端について実習をまじえて学びます。	1	39	1	△		○
○			情報工学Ⅰ	Microsoft Word 及び Excel を用いて課題作成やプログラム制作を行います。また、計算機の基礎構成や動作の仕組みについて学ぶ	1	156	4	△		○
○			情報工学Ⅱ	アルゴリズム概念を基礎に、C言語を使ったプログラミング法を学習し、マシンコントロール処理等の実習を行います。	2	78	2	△		○
○			制御工学	前期にはシーケンス制御を、後期にはフィードバック制御を、基本となる事項について、シーケンス制御とフィードバック制御の有機的結合を考慮しながら包括的に学習します。	2	78	2	△		○
○			システムプログラミング	C言語を使い、コンピュータシステム等の構築をプログラミングします。	2	78	2	△		○
○			CAD	AutoCAD ソフトを使用し、作図法やCADのための図形処理技法について実習しながら学びます。また、実際に設計図面等を作図します。	2	39	1			○
○			アナログ工学	オペアンプの原理と使い方を基本として、基本回路の理解と応用回路へのアプローチを実習を通して学習します。	2	39	1	△		○
○			デジタル回路	基礎となる電気回路、電子回路、論理工学の知識を元にしてゲートICについての基本的特性、諸特性について講義します。また、基本的な回路を構成してその実習も行います。	2	39	2			○

○		実験実習	基礎専門科目において学んだ理論を、さらに実験を行う事によって具体的に理解を深めていきます。	2	390	10				○
	○	製図学	三角法、投影法など各種図法をドラフタを使って実習しながら書き方を習得します。また、スケッチなどを行うために、ノギス、マイクロメータの使用法も学習する	2	78	2				○
	○	NC工学	NC機器に関する原理と構造、制御方法、サーボシステムの設計手法を学びます。	2	39	1	○			△
	○	機械工学	ものづくりのために必要になる機械強度などの設計手法を学びます。	2	39	1	○			
	○	機構学	各種機構の仕組みや設計方法、応用の仕方を学びます。	2	39	1	△	○		
	○	マイクロアクチュエータ	アクチュエータに関する基礎知識から応用、設計のポイントなど学びます。	2	39	1	○			
	○	センサー工学	センサーに関する基礎知識である原理・特性を解説し、メカトロニクスに組み込むための実装技術について学習します。	2	39	1	○			
	○	知能ロボット工学	人工知能の研究やAI技術を学びます。	2	39	1	○			
	○	精密工学	ナノテクノロジーや精密技術について学びます。	2	39	1	○			
	○	マイクロコンピュータIT技術	マイクロコンピュータの基本構成と動作原理について学習します。	2	78	2	○			
	○	システムインターフェース	産業用ロボットなどを含む知能ロボットをマイコン制御するための技術とインターフェースの設計方法やデータ通信方法を、実習を通して学習します。	2	39	1	△			○
	○	コンピュータコントロール	プログラマブルシーケンス（コンピュータによるシーケンス回路）の実験実習を行います。	2	39	1	△			○
	○	超音波工学	超音波は計測分野での利用が主となっています。従って、ここでは超音波計測の原理、応用について具体例などを学習します。	2	39	1	○			

○	解剖生理学	骨、筋肉、神経系などの人体の生理構造について学習します。	2	78	2	○		△
○	臨床医学概論	さまざまな疾病の症状、原因、治療方法、及び臨床検査の方法について学びます。	2	39	1	○		
○	医用演習	医用機器を実際に使用して、自分たちの体の状態などを測定します。それによって、医用機器の使用法やあり方を学習します。	2	39	1	△	○	
○	生物学	生物はどのようにして代謝を行っているのか、どのようにしてエネルギーを変換しているのかとどのように増殖するのか等について講義します。	2	39	1	○		
○	生化学	生命の基礎的な現象を科学的に理解できるように学びます。	2	39	1	○		
○	分子生物学	生命現象について学びます。	2	39	1	○		
○	微生物学	微生物全般の中で、有用な微生物、病原性を持つ微生物など個別に学び、知識を深めます。	2	39	1	○		
○	遺伝子工学	遺伝子組み替えの技術、及びそれを応用することによって有用な物質の生産、病気の治療品種改良等を行う方法について講義を行います。	2	39	1	○		
○	社会福祉概論	現代社会における社会福祉のあり方を模索できるように、社会福祉の全体像を概括的に把握し、理解できるように学習します。	2	39	1	△	○	
○	障害者福祉論	障害者の実態を知り、社会生活との関わり、障害者施設の現状を学びながら障害者福祉の意義を理解します。	2	39	1	△	○	
○	放射線概論	ここでは工業用X線技師の資格をとるために必要な知識を学習します。また、基礎的な放射線の発生原理、測定法などについても学習します。	2	39	1	○		
○	医用電子・福祉機器工学	生体の電気信号への変換手法から、その電気信号を応用して作られた医用電子装置（心電計、脳波計、心音計、筋電計、CCU等）について学習します。また、各種福祉機器のあり方から機能、使い方まで学習します。更に、第2種ME技術実力検定の資格取得を目的として、学習、演習も行う	2	156	4	○		

○	デジタル設計	応用となる、フリップフロップやデコーダーなどについて講義します。また、応用的な回路・制御回路を構成してその実習も行います。	2	78	2	△	○	
○	ネットワークシステム (CCNA)	ネットワークの概要、基本構成、プロトコル、接続法の基礎などを学びます。	2	78	2		○	
○	Windowsシステム (MCP)	Windows システムをコンピュータにインストールし、システムや各種設定について学びます。また、マイクロソフト認定のMCP資格取得を目指します。	2	156	4	○		
○	Webプログラミング	Web を運用するために必要な Javascript や CGI / SSI 技術などホームページの総合的なデザイン / プログラミングの基礎を学びます。	2	78	2		○	
○	UNIX I	オペレーティングシステムの UNIX について基礎を学びます。	2	39	1	○	△	
○	UNIX II	オペレーティングシステムの UNIX について応用を学びます。	2	39	1		○	
○	Web サイト構築	Web サイト構築の為の知識・技術を学びます。	2	156	4		○ △	
○	演習	技術者として社会に適応できる能力、常識・技術を学習します。	2	39	1		○ △	
合計			53 科目		4017 単位時間 (99 単位)			

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
日本理工情報専門学校	昭和52年4月1日	瓶井 修	〒533-0015 大阪市東淀川区大隅 1-1-25 (電話) 06-6329-6553			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人瓶井学園	昭和58年9月26日	瓶井 剛	〒533-0011 大阪市東淀川区大桐2丁目6-6 (電話) 06-6329-6553			
目 的	第二種電気工事士免状を卒業と同時に取得でき、その資格を活かせる職業に就くことができる技術者の育成を目的としている					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	電気デジタル情報科Aコース	2年(昼間部)	2652単位時間 (又は単位)	平成13年文部科学大臣告示25号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1248単位時間 (又は単位)	273単位時間 (又は単位)	390単位時間 (又は単位)	741単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	19人	3人	11人	14人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日 ■			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 年間4回の定期試験 実習・演習の評価	
長期休み	■学年始め：4月15日 ■夏 季：7月21日～8月31日 ■冬 季：12月25日～1月7日 ■学 年 末：3月15日 ■学年始め：			卒業・進級条件	履修科目の全単位取得	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡・警告文送付・保護者懇談			課外活動	■課外活動の種類 電力施設見学 ■サークル活動 (有・無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 電気工事業・家庭電気修理業 ■就職率 ^{※1} 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} 100% ■その他(任意) (平成27年度卒業者に関する平成28年3月時点の情報)			主な資格・検定	第二種電気工事士 第一種電気工事士	

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0%</p> <p>平成27年4月 1日在学者 19名 (平成27年4月入学者を含む) 平成28年3月31日在学者 19名 (平成28年3月卒業者を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 経済的理由による就職</p> <p>■中退防止のための取組 1時間目に欠席学生の自宅に電話し登校を促す。成績不振の学生への補習授業の実施 退学希望の学生に対し担任・責任者等3名以上が順に面談し翻意を促す</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.nrj.ac.jp</p>

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

電気工事工業組合や株きんでん等の企業においてヒヤリングを行い教育課程編成委員会に諮り、企業のニーズに応える事ができる人材の育成に必要な内容を授業に反映させている。また、企業による実務に必要な知識習得のための演習や現場における体験実習を重視し授業科目に組み入れ易くするため授業時間割を1カ月ごとに組み替えるようにしている。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年4月2日現在

名 前	所 属
清水 政仁	一般社団法人情報通信エンジニアリング協会
小島 孜	公益社団法人 日本建築家協会近畿支部
糸尾 武則	自動車整備振興会高槻・三島地区会
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合
小林 敬一郎	神戸医療福祉大学
小西 敏仁	ネットヨタニューリー北大阪株式会社
宮崎 吉雄	トナミ電工(株)
宮崎 一郎	トナミ電工(株)
増南 正	(有) スタジオ・マックス
石上 芳弘	イシウエヨシヒロ建築設計事務所
井端 賢次	テクノメック合資会社
篠原 史規	(有) 車楽工房
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社
壺井 啓太	株式会社ジェイファスト

(開催日時)

平成27年度

平成28年度

第1回 平成27年4月4日 13:30~15:00

第1回 平成28年4月2日 13:30~14:50

第2回 平成27年10月31日 13:30~14:50

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実務に必要な知識習得のための演習や現場における体験実習をできる限り組み入れ、学生が就業するであろう業界の実務の仕組みや技術レベルを知り、より適性のある職業を学生が選択でき実社会で活躍できることを望んでいる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
マイコン制御工学	駐車場設備の工事・保守・点検に必要な技術についてタイムズサービスの研修施設において実習する	パーク24株式会社
施工管理技術	電気工事における施工計画書作成・施工図からの施工要領書の作成・工程表の作成の演習や道路使用許可申請における作業手順書作成演習を行い、現場代理人としての書類作成業務を体験することが目的である。	トナミ電工(株)
映像メディア制作	スタジオ収録における映像・照明・音響について収録用スタジオでの設営・操作及び効果を体験することが目的である。収録用スタジオにおいて出演者・照明セッティング係・マイクセッティング設営係・照明操作係・ミキサー操作係・撮影係等に分かれ番組を収録する。	株式会社ハートス 有限会社スタジオ・マックス

3. 教員の研修等	
(教員の研修等の基本方針) (一社)大阪府専修学校各種学校連合会の主催する教職員のための指導力向上講座や外部団体・企業・大学等が主催する講習、講演について事務局が全員に周知・奨励を行っている。 希望者がいない場合は担当課長が指名して参加者を決める。 参加費用は全額学校が負担している。	
4. 学校関係者評価	
(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)	
平成28年4月2日現在	
名 前	所 属
宮崎 吉雄	トナミ電工(株)
増南 正	(有)スタジオ・マックス
小島 孜	公益社団法人 日本建築家協会近畿支部
石上 芳弘	イシウエヨシヒロ建築設計事務所
蔵敷 重壽	元 大阪市教育委員会事務局 高等学校教育課長
篠原 史規	(有) 車楽工房
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社
壺井 啓太	株式会社ジェイファスト
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合
(学校関係者評価結果の公表方法) ホームページに公表 URL: http://www.nrj.ac.jp	
5. 情報提供	
(情報提供の方法) ホームページ・学校案内 URL: http://www.kamei.ac.jp/	

授業科目等の概要

(工業専門課程電気デジタル情報科Aコース) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			数学	専門教科を履修するのに必要な数学を学習します。電気回路論、電子回路論等の計算で必要とする数学を学ぶもので、内容的には、中学、高校の復習も含まれているので、今まで自分が知り得る数学を整理する様に指導します。	1	78	2	○		
○			物理	電界、磁界、電磁誘導、磁性体等、静電気学及び磁気学を幅広く学びます。	1	78	2	○		

○			電気理論	電気回路計算を中心とした科目で、例えば電気とは何かとか、直流と交流とはどう違うのかとか、電気の物理的概念の基本を説明していくとともに色々な公式をもとに回路計算に応用できる様に指導します。	1	156	4	○		
○			電気工事	第二種電気工事士国家試験の学科に出題される内容で配電理論、機器、材料、施工方法、法規、検査、配線図等についてポイント的に説明すると同時に現場における実務的な関連知識についても習得します	1	156	4	○		△
○			電気工事	第一種電気工事士国家試験の学科に出題される内容で配電理論、機器、材料、施工方法、法規、検査、配線図等についてポイント的に説明すると同時に現場における実務的な関連知識についても講義します	2	234	6	○		△
○			電子回路	電子回路の基礎理論を説明するもので、内容としては、電子管、半導体素子、増幅回路、発信回路、整流回路、変調・復調回路等を学び、かつ実験・実習でその動作を確認します。	1	78	2	○		
○			電子計測	電気技術者として、必要な測定器等についての構造、原理、使用方法について講義します。	1	78	2	○		
○			デジタルAV家電	AV機器のDVD、デジタルビデオカメラ、デジタル放送・通信機器の原理について学習します。	1	39	1	○		
○			デジタル生活家電	電磁調理器、イオン発生機能付生活家電機器の原理から基礎技術まで学習します。	1	39	1	○	△	△
○			デジタル放送システム	デジタル放送、情報通信の原理を学習しその端末機器でもある液晶やプラズマディスプレイや薄型画面の第三の技でもある無機EL（エレクトロルミネッセンス）まで学習します。	1	39	1	○		
○			映像メディア制作	カメラで撮影した静止画・動画をパソコンへ取り込む方法から、静止画の補正・修正・デザイン、動画のノンリニア編集方法や技術を学習します。	2	78	2	△		○
○			ホームセキュリティ	敷地や宅内への侵入者や火災などの異常状態は生活する者を脅かすものです、しかしこのような時にいち早く知ることが出来れば安全を保つことができます、そのための機器の原理から技術まで学習します。	2	39	1	○		
○			デジタル情報家電	パソコンによりネットワークシステムが進化し、その技術が向上したことによりパソコンの機能が多種多様になりました、この原理を学習し、その一部を取込んだ携帯電話の技術まで学習します。	1	39	1	○		

○			ホームネットワーク	ブロードバンド通信網の整備やデジタル放送の普及による通信・放送サービスの多様化、AV機器をはじめとするデジタル技術の急速な発展により、情報通信を利用した多様で高度な利用システムについて学習します。	2	39	1	○		
○			情報工学	コンピュータの基本構成、動作をもとに、アプリケーションプログラムによる実習	1	78	2		○	△
○			情報工学	応用プログラムによる実習及びホームページ作成の基本について学習します。	2	78	2		○	△
○			マイコン制御工学	情報工学で学んだ知識を基礎に、プログラマブルコントローラによる自動運転制御やプログラミングについて実習しながら学習します。	2	78	2		○	△
○			施工管理技術	電気工事の現場で必要とされる施工計画、工程管理、品質管理、安全管理、設計契約等を中心に施工技術者試験の合格を目指す。	2	39	1		○	
○			デジタル回路	基礎となる電気回路、電子回路の知識をもとにしてゲートやICについての基本的特性、諸特性について講義します。また、基本的な回路構成してその実習も行います。	1	78	2	○		△
○			有線電気通信工学	電気通信について概論的に講義し、工事担任者資格試験に合格できるよう、十分な演習を行います。	1	39	1	○		
○			データ通信工学	コンピュータに電気通信回路を接続してデータ処理とデータ電送を一体として行う方式の基礎について学びます。工事担任者資格試験に必要な講義を行います。	1	39	1	○		
○			CAD製図実習	CADシステムを使用し、図面設計の基礎や応用を学び、実習します。	2	78	2			○
○			電気実習	電線の接続、がいし引き工事、金属管工事、合成樹脂管工事等、ケーブル工事の単位基本実習を行います。	1	156	4			○
○			電気実習	応用を加えた実習で三相回路、単相3線式回路、ライティングダクト工事、リモコンリレー回路工事、フロア工事、天井工事、キャブタイヤケーブル工事等が主なテーマです。	2	429	11			○
○			実験実習	電子計測やシーケンス制御において学んだ理論を、さらに実験を行うことによって具体的に理解を深めていきます。	1	156	4			○

○		実験実習	専門科目で学んだ理論あるいは技術を実験を行って実証しあるいは体得することにより、知識および技術として確かなものとなる。実験の内容は、本学科専門科目の電気分野の実験を行う	1	234	6			○
合計				26 科目	2652 単位時間(68 単位)				

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
日本理工情報専門学校	昭和52年4月1日	瓶井 修	〒533-0015 大阪市東淀川区大隅 1-1-25 (電話) 06-6329-6553			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人瓶井学園	昭和58年9月26日	瓶井 剛	〒533-0011 大阪市東淀川区大桐2丁目6-6 (電話) 06-6329-6553			
目 的	第二種電気工事士免状、第三種電気主任技術者免状の取得を目指し、その資格を活かせる職業に就くことができる技術者の育成を目的としている					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	電気デジタル情報科Bコース	2年(昼間部)	2652単位時間 (又は単位)	平成13年文部科学大臣告示25号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1287単位時間 (又は単位)	273単位時間 (又は単位)	780単位時間 (又は単位)	1404単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	22人	3人	11人	14人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日 ■			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 年間4回の定期試験 実習・演習の評価	
長期休み	■学年始め：4月15日 ■夏 季：7月21日～8月31日 ■冬 季：12月25日～1月7日 ■学 年 末：3月15日 ■学年始め：			卒業・進級条件	履修科目の全単位取得	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡・警告文送付・保護者懇談			課外活動	■課外活動の種類 電力施設見学 ■サークル活動 (有・無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 電気設備管理・電気工事業 ■就職率 ^{※1} 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} 100% ■その他(任意) (平成25年度卒業者に関する平成27年3月時点の情報)			主な資格・検定	第二種電気工事士 第一種電気工事士 第三種電気主任技術者	

中途退学の現状	<p>■中途退学者 1名 ■中退率 4.5%</p> <p>平成27年4月 1日在学者 22名 (平成27年4月入学者を含む) 平成28年3月31日在学者 22名 (平成28年3月卒業者を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 経済的理由</p> <p>■中退防止のための取組 1時間目に欠席学生の自宅に電話し登校を促す。成績不振の学生への補習授業の実施 退学希望の学生に対し担任・責任者等3名以上が順に面談し翻意を促す</p>
ホームページ	URL: http://www.nrj.ac.jp

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

電気工事工業組合や東洋ビルメンテナンス(株)等の企業においてヒヤリングを行い教育課程編成委員会に諮り、企業のニーズに応える事ができる人材の育成に必要な内容を授業に反映させている。また、企業による実務に必要な知識習得のための演習や現場における体験実習を重視し授業科目に組み入れ易くするため授業時間割を1カ月ごとに組み替えるようにしている

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年4月2日現在

名 前	所 属
清水 政仁	一般社団法人情報通信エンジニアリング協会
小島 孜	公益社団法人 日本建築家協会近畿支部
糸尾 武則	自動車整備振興会高槻・三島地区会
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合
小林 敬一郎	神戸医療福祉大学
小西 敏仁	ネットヨタニューリー北大阪株式会社
宮崎 吉雄	トナミ電工(株)
宮崎 一郎	トナミ電工(株)
増南 正	(有) スタジオ・マックス
石上 芳弘	イシウエヨシヒロ建築設計事務所
井端 賢次	テクノメック合資会社
篠原 史規	(有) 車楽工房
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社
壺井 啓太	株式会社ジェイファスト

(開催日時)

平成27年度

平成28年度

第1回 平成27年4月4日 13:30~15:00

第1回 平成28年4月2日 13:30~14:50

第2回 平成27年10月31日 13:30~14:50

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実務に必要な知識習得のための演習や現場における体験実習をできる限り組み入れ、学生が就業するであろう業界の実務の仕組みや技術レベルを知り、より適性のある職業を学生が選択でき実社会で活躍できることを望んでいる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
電 気 機 械 技 術	山崎インターの電気設備の保守点検、測定器の整備点検とその使用方法	株式会社 ジェイファスト
マイコン制御工学	駐車場設備の工事・保守・点検に必要な技術についてタイムズサービスの研修施設において実習する	パーク24株式会社
施工管理技術	電気工事における施工計画書作成・施工図からの施工要領書の作成・工程表の作成の演習や道路使用許可申請における作業手順書作成演習を行い、現場代理人としての書類作成業務を体験することが目的である。	トナミ電工(株)
映像メディア制作	スタジオ収録における映像・照明・音響について収録用スタジオでの設営・操作及び効果を体験することが目的である。収録用スタジオにおいて出演者・照明セッティング係・マイクセッ	株式会社ハートス 有限会社スタジオ・マックス

	ティン設営係・照明操作係・ミキサー操作係・撮影係等に分かれ番組を収録する。	
--	---------------------------------------	--

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

(一社)大阪府専修学校各種学校連合会の主催する教職員のための指導力向上講座や外部団体・企業・大学等が主催する講習、講演について事務局が全員に周知・奨励を行っている。
希望者がいない場合は担当課長が指名して参加者を決める。

参加費用は全額学校が負担している。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年4月2日現在

名 前	所 属
宮崎 吉雄	トナミ電気(株)
増南 正	(有)スタジオ・マックス
小島 孜	公益社団法人 日本建築家協会近畿支部
石上 芳弘	イシウエヨシヒロ建築設計事務所
蔵敷 重壽	元 大阪市教育委員会事務局 高等学校教育課長
篠原 史規	(有) 車楽工房
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社
壺井 啓太	株式会社ジェイファスト
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合

(学校関係者評価結果の公表方法)

ホームページに公表

URL: <http://www.nrj.ac.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

ホームページ・学校案内

URL: <http://www.kamei.ac.jp/>

授業科目等の概要

(工業専門課程電気デジタル情報科Bコース) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			数学	専門教科を履修するのに必要な数学を学習します。電気回路論、電子回路論等の計算で必要とする数学を学ぶもので、内容的には、中学、高校の復習も含まれているので、今まで自分が知り得る数学を整理する様に指導します。	1	78	2	○		
○			物理	電界、磁界、電磁誘導、磁性体等、静電気学及び磁気学を幅広く学びます。	1	78	2	○		
○			電気回路理論	回路網に関する諸定理を学び、過渡現象、分布定数回路等の解析を行う。	1	78	2	○		
○			電気磁気学	電磁エネルギー、物質中の電磁界などの応用を学ぶ。	1	78	2	○		
○			電力技術	発電・送配電技術、電力系統により電力エネルギーの供給と環境について学ぶ。	2	78	2	○		
○			電気機械技術	直流機、三同期・三相誘導電動機等の原理や特性、機械の応用技術を学ぶ。	2	156	4	○		
○			電気機器設計製図	変圧器、電動機、制御用機器等の構造を学び、製図を行う。	2	39	1			○
○			電気法規	電気工作物の保安に関する法規や電気施設管理を中心に電気主任技術者として必要な内容を講義します。	2	39	1	○		
○			電子回路	電子回路の基礎理論を説明するもので、内容としては、電子管、半導体素子、増幅回路、発信回路、整流回路、変調・復調回路等を学び、かつ実験・実習でその動作を確認します。	1	78	2	○		

○			電子計測	電気技術者として、必要な測定器等についての構造、原理、使用方法について講義します。	1	78	2	○			
○			電気製図	屋内配線から電力系統までの電気配線を製図します。	2	39	1				○
○			電気基礎実験	電子計測によって学んだ測定器を使用し、実際に各テーマのデータを取り回路網について検討実験を行う。	1	156	4				○
○			電気応用実験	高圧電気機器の動作試験や絶縁耐圧試験を行い理論上と実際のデータとの検討を行う。	2	234	6				○
○			情報工学	コンピュータの基本構成、動作をもとに、アプリケーションプログラムによる実習	1	78	2				○
○			情報工学	応用プログラムによる実習及びホームページ作成の基本について学習します。	2	78	2				○
○			マイコン制御工学	情報工学で学んだ知識を基礎に、プログラマブルコントローラによる自動運転制御やプログラミングについて実習しながら学習します。	2	78	2				○
○			施工管理技術	電気工事の現場で必要とされる施工計画、工程管理、品質管理、安全管理、設計契約等を中心に施工技術者試験の合格を目指す。	2	39	1			○	
○			デジタル回路	基礎となる電気回路、電子回路の知識をもとにしてゲートやICについての基本的特性、諸特性について講義します。また、基本的な回路構成してその実習も行います。	1	78	2	○			△
○			電気工事	第二種電気工事士国家試験の学科に出題される内容で配電理論、機器、材料、施工方法、法規、検査、配線図等についてポイント的に説明すると同時に現場における実務的な関連知識についても習得します	1	156	4	○			△
○			デジタルAV家電	AV機器のDVD、デジタルビデオカメラ、デジタル放送・通信機器の原理について学習します。	1	39	1	○			
○			デジタル生活家電	電磁調理器、イオン発生機能付生活家電機器の原理から基礎技術まで学習します。	1	39	1	○	△		△

○		デジタル放送システム	デジタル放送、情報通信の原理を学習しその端末機器でもある液晶やプラズマディスプレイや薄型画面の第三の技でもある無機EL（エレクトロルミネッセンス）まで学習します。	1	39	1	○		
○		映像メディア制作	カメラで撮影した静止画・動画をパソコンへ取り込む方法から、静止画の補正・修正・デザイン、動画のノンリニア編集方法や技術を学習します。	2	78	2	△		○
	○	ホームセキュリティ	敷地や宅内への侵入者や火災などの異常状態は生活する者を脅かすものです、しかしこのような時にいち早く知ることが出来れば安全を保つことができます、そのための機器の原理から技術まで学習します。	2	39	1	○		
	○	デジタル情報家電	パソコンによりネットワークシステムが進化し、その技術が向上したことによりパソコンの機能が多種多様になりました、この原理を学習し、その一部を取込んだ携帯電話の技術まで学習します。	1	39	1	○		
	○	ホームネットワーク	ブロードバンド通信網の整備やデジタル放送の普及による通信・放送サービスの多様化、AV機器をはじめとするデジタル技術の急速な発展により、情報通信を利用した多様で高度な利用システムについて学習します。	2	39	1	○		
	○	有線電気通信工学	電気通信について概論的に講義し、工事担任者資格試験に合格できるよう、十分な演習を行います。	1	39	1	○		
	○	データ通信工学	コンピュータに電気通信回路を接続してデータ処理とデータ電送を一体として行う方式の基礎について学びます。工事担任者資格試験に必要な講義を行います。	1	39	1	○		
	○	電工実習	電線の接続、がいし引き工事、金属管工事、合成樹脂管工事等、ケーブル工事の単位基本実習と、それぞれの各工事が複合された応用実習を行います。その場合、3路スイッチ、自動点滅器、2連スイッチ、スイッチ付コンセント等の各器具配線の方法も併せて学びます。	1	156	4	△		○
	○	実験実習	専門科目で学んだ理論あるいは技術を実験を行って実証しあるいは体得することにより、知識および技術として確かなものとなる。実験の内容は、本学科専門科目の電気分野の実験を行う	2	390	10	△		○
	○	実務実習Ⅰ	ビジネスマナーの基本となる接客・電話対応を学び、基本的な事務的業務を行なうことにより企業の業務の把握が出来るように企業研修を行う	1	273	7	△	△	○
	○	実務実習Ⅱ	学内において低圧電気取り扱い業務特別講習を学び、企業における安全教育の基本を事前に学んでおき、実際の現場における安全教育の向上を目指す、また学内で学んだ製図技能を企業において実践する	1	273	7	△	△	○

	○		実務実習 Ⅲ	高圧受電設備の保守点検業務・低圧電気設備の保守点検業務・空気調和機・給水設備等電気主任技術者としての実務を身につける	2	273	7	△	△	○
	○		実務実習 Ⅳ	2年時までに取得した国家資格の分野に合わせ、インターンシップ提携企業が施工主側の許可を頂いた現場での実践実習を行う、	2	273	7	△	△	○
合計				34科目	3744単位時間(96単位)					

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
日本理工情報専門学校	昭和52年4月1日	瓶井 修	〒533-0015 大阪市東淀川区大隅 1-1-25 (電話) 06-6329-6553			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人瓶井学園	昭和58年9月26日	瓶井 剛	〒533-0011 大阪市東淀川区大桐2丁目6-6 (電話) 06-6329-6553			
目 的	一級・二級建築士・二級建築施工管理技士を目指し、その資格・技術を活かせる職業に就くことができる技術者の育成を目的としている					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	建築デザイン科	2年(昼間部)	2130単位時間 (又は単位)	平成13年文部科学大臣告示25号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1320単位時間 (又は単位)	240単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1320単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	8人	2人	9人	11人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日 ■			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 年間4回の定期試験 実習・演習の評価	
長期休み	■学年始め：4月15日 ■夏 季：7月21日～8月31日 ■冬 季：12月25日～1月7日 ■学 年 末：3月15日 ■学年始め：			卒業・進級条件	履修科目の全単位取得	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡・警告文送付・保護者懇談			課外活動	■課外活動の種類 電力施設見学 ■サークル活動 (有・無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 建設業 ■就職率 ^{※1} 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} 50% ■その他(任意) (平成27年度卒業者に関する平成28年3月時点の情報)			主な資格・検定	二級建築士 二級建築施工管理技士	

中途退学の現状	<p>■中途退学者 1名 ■中退率 12.5%</p> <p>平成27年4月 1日在学者 8名 (平成27年4月入学者を含む)</p> <p>平成28年3月31日在学者 7名 (平成28年3月卒業者を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>経済的理由</p> <p>■中退防止のための取組</p> <p>1時間目に欠席学生の自宅に電話し登校を促す。成績不振の学生への補習授業の実施</p> <p>退学希望の学生に対し担任・責任者等3名以上が順に面談し翻意を促す</p>
ホームページ	URL: http://www.nrj.ac.jp

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

イシウエヨシヒロ建築設計事務所等の企業においてヒヤリングを行い教育課程編成委員会に諮り、企業のニーズに応える事ができる人材の育成に必要な内容を授業に反映させている。また、企業による実務に必要な知識習得のための演習や現場における体験実習を重視し授業科目に組み入れ易くするため授業時間割を1カ月ごとに組み替えるようにしている。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年4月2日現在

名 前	所 属
清水 政仁	一般社団法人情報通信エンジニアリング協会
小島 孜	公益社団法人 日本建築家協会近畿支部
糸尾 武則	自動車整備振興会高槻・三島地区会
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合
小林 敬一郎	神戸医療福祉大学
小西 敏仁	ネッツトヨタニューリー北大阪株式会社
宮崎 吉雄	トナミ電工(株)
宮崎 一郎	トナミ電工(株)
増南 正	(有) スタジオ・マックス
石上 芳弘	イシウエヨシヒロ建築設計事務所
井端 賢次	テクノメック合資会社
篠原 史規	(有) 車楽工房
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社
壺井 啓太	株式会社ジェイファスト

(開催日時)

平成27年度

平成28年度

第1回 平成27年4月4日 13:30~15:00

第1回 平成28年4月2日 13:30~14:50

第2回 平成27年10月31日 13:30~14:50

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実務に必要な知識習得のための演習や現場における体験実習をできる限り組み入れ、学生が就業するであろう業界の実務の仕組みや技術レベルを知り、より適性のある職業を学生が選択でき実社会で活躍できることを望んでいる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
構造力学	構造力学は、設計・施工実務において必須分野であり、業務の効率化のためにパソコンを活用することが必須である。パソコンを用いた構造計算の実習および建築士事務所での実務実習を行うことが目的である。梁に対する荷重計算・ラーメン構造計算・トラス構造計算のパソコン実習2名単位で建築士事務所における実務実習	素+象 s o z o u 建築設計事務所
建築設計製図Ⅱ	集会所の構造・用途を理解し機能性・コストを考慮した実務的な建築設計製図法を実習することが目的である。 あすなる夢建築 大阪府公共建築設計コンクールの設計課題である大阪府営堺新金岡2丁3番住宅の集会所の設計に関して、入賞を目指す明るいコミュニティをはぐくむ集会所を設計・製図する。2名単位で建築士事務所にお	e u 建築設計 Ts' plants 一級建築士事務所

	ける実務実習	
建築設計製図Ⅰ	集会所の構造・用途を理解し実務的な建築設計製図法を実習することが目的である。 あすなる夢建築 大阪府公共建築設計コンクールの設計課題である大阪府営堺新金岡2丁3番住宅の集会所の設計に関して、入賞を目指す集会所を設計・製図する教育課程編成委員会の意見により、1年生からあすなる夢建築大阪府公共建築設計コンクールに応募させることにした。	オフィス・エヌ・キューブ
インテリアデザインⅡ	インテリアを構成するさまざまなエレメントの、実際のスケールや材料の性質、コストなどを実習を通して習得することにより、インテリアデザインの能力を高めることを目的とする。 2名単位で建築士事務所における実務実習	設計事務所GA-PLAN

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

(一社)大阪府専修学校各種学校連合会の主催する教職員のための指導力向上講座や外部団体・企業・大学等が主催する講習、講演について事務局が全員に周知・奨励を行っている。

希望者がいない場合は担当課長が指名して参加者を決める。

参加費用は全額学校が負担している。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年4月2日現在平

名 前	所 属
宮崎 吉雄	トナミ電工(株)
増南 正	(有)スタジオ・マックス
小島 孜	公益社団法人 日本建築家協会近畿支部
石上 芳弘	イシウエヨシヒロ建築設計事務所
蔵敷 重壽	元 大阪市教育委員会事務局 高等学校教育課長
篠原 史規	(有) 車楽工房
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社
壺井 啓太	株式会社ジェイファスト
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合

(学校関係者評価結果の公表方法)

ホームページに公表

URL: <http://www.nrj.ac.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

ホームページ・学校案内

URL: <http://www.kamei.ac.jp/>

授業科目等の概要

(工業専門課程建築デザイン科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			CAD実習Ⅱ	3D基礎知識を習得し、3次元空間を作成します。3DCGをPhoto shop・Illustratorを使用して美しくプレゼンテーションする方法も学びます。	2	120	4	△		○
○			施設・店舗設計	さまざまな建築施設の中で、特に商業施設を取り上げ、その建築計画の基本を学びます。また、多くの事例に触れ、演習を行いながら、デザインの基礎と理論を学び、技術の習得を目指します。	2	60	2	△	△	○
○			建築設計製図Ⅰ	製図用具の正しい扱い方、図法による物体の図式、日本工業規格(JIS)にもとづく製図法の基本を学びます。トレース及び基本的な作図を通して製図の基礎を習得します。	1	240	8	△	△	○
○			建築設計製図Ⅱ	各種構造・用途の建築実例をもとに設計コンセプトのまとめ方、デザインの手法などを学びます。課題演習のエスキス、製図、プレゼンテーションを通して設計技術を養います。	2	120	4	△	△	○
○			建築計画	人間の行為と建築空間、建築と社会の関わりなどについて学習します。実際の建築設計において基礎となる各用途の建築計画の基本を修得することを目指します。	1	30	2	○		
○			建築史	日本と西洋の古代から現代までの建築の変遷の大きな流れについて学習します。建築が社会の変化といかに関わり、どのような形態をとってきたかを考察します。	1	30	2	○		
○			インテリア計画	建築の、特にその内部空間に着目し、その企画や設計・管理にかかわる基礎的知識を習得します。	1	60	4	○		△
○			環境工学	建築空間を人間にとって快適で健康的なものにするための環境(室内温度、日照、採光、騒音など)について学習します。	1	30	2	○	△	
○			建築設備	給水・排水・電気・空気調和設備などといった建築設備について学習します。	2	30	2	○		

○			照明計画	照明工学の基礎知識から、建築照明デザインの実務の流れまで、全容を俯瞰します。講義項目は、照明の基礎、光源、照明器具、照度計算、屋内・外照明などです。	2	30	2	○		
○			構造力学	建築物の構造計算の基礎を学習します。荷重の種類・部材応力の計算などです。	2	60	4	○	△	△
○			建築一般構造	建築物の構造の種類と用途、またそれぞれの構造種別の長所・短所について学習します。木構造・鉄筋コンクリート構造・鉄骨造などです。	1	60	4	○		
○			耐震工学	地震と地震動の関係、地震動の性質、地震による被害と対策など、耐震設計で必要となる基礎知識を修得します。動的解析法など、耐震設計の基本的な考え方を学びます。	2	30	2	○	△	
○			建築材料Ⅰ	建築物を構成する各種建築材料の特性と物性、部位ごとの要求性能と材料選定に際しての基本的事項を学びます。	1	30	2	○		
○			建築材料Ⅱ	建築材料Ⅰに引き続き、さまざまな建築材料の特性について学びます。実際のサンプルに触れたり、問題演習を行うなどして理解を深めます。	2	30	1	△	○	
○			材料実習	建築材料（木材・コンクリート・鋼材等）の各種材料試験や強度試験を行い、材料の特徴・強度について学習します。	2	60	2	△		○
○			建築積算	建築を計画するにあたり、実際にかかる費用を算出する手法について演習を交えながら学びます。	2	30	2	○	△	
○			建築施工	建築施工は、建築生産における一連の技術活動の最終段階で、設計を忠実に実現させなければならない非常に重要な技術分野です。建築工事における技術的なことや管理方法などについて学習します。	2	30	2	○		
○			建築法規	建築基準法を中心とした建築法規の基礎に関して、表や図、多くの実例写真など実用的な資料を参照しながら学習します。	1	30	2	○	△	
○			レンダリング	基本的な図法をマスターすることから始め、どのような形態の建築であっても自由自在にパースアングルを操作できる技術を身につけます。	1	60	2	△		○
○			建築論	建築デザインについて、さまざまな優れた建築事例を主に造形的に比較、分類し、考察します。デザイン手法が実際の建築でどの様に使われているか、漠然と見ていた建物がどんな手法を用いてデザインされたのかなどを理解、分析出来るようにします。	1	30	2	○		

○		図学	立体の幾何的な表現方法について学習します。製図用具の使用法・線と文字・寸法記入・三角図法などです。	1	30	1	△	○	△
○		インテリア エレメント	インテリアを構成する商品、機器、部材、資材等の構造や特性について学びます。講義項目は、間仕切と建具、ウインドートリートメント、カーペット、家具、光と照明、設備機器などです。	1	30	2	△	○	△
○		CAD実習 I	AutoCAD を使用して、図面作成（2次元）に必要なCAD機能を学びます。	1	60	2	△		○
○		インテリア デザインI	建築の、特にインテリアに重点を置き、空間計画の基礎知識・基礎技法を演習と側面的な講義によって修得します。	1	60	2	○		△
○		インテリア デザインII	それまでのインテリアに関係する講義、演習で習得したことがらを、実習のテーマの中で生かし、表現することで、その専門的知識や技術を確かなものとします。	2	60	2	△	△	○
○		数学	建築の構造分野において、特に力のつりあいや静定構造物の解析計算などで使用する基本的な数学を学習します。	1	30	2	○	△	
○		コンピュー タI (コンピ ュータ概論)	コンピュータを道具として、いかに自分の部署や自分自身のために役立てるかを考える能力を養います。講義項目は仕事とコンピュータ、基幹業務システムとの関わり、エンドユーザコンピューティング、システム環境整備と運用管理などです。	1	60	4	○		
○		家具計画	内装や家具の知識、ファニッシング、インテリアデコレーションに関して学びます。講義項目は内装の詳細、造作家具、ファニッシングのメンテナンス、人間の動作寸法と造作家具のデザインなどです。	1	30	2	○		△
○		造形演習	講義、実技演習を通して、基本デッサンについて学習します。応用段階では、さまざまな表現手法について学び、各自が持つ表現力を最大限引き出せるようにします。	1	60	2	△	○	
○		卒業制作	卒業制作では、これまでに学習してきた建築・インテリア/CAD学習の総合的なまとめとして、自分自身で設定したテーマについて制作実習を行い、全校生に対してプレゼンテーションを行います。	2	90	3	△		○
	○	緑地計画	人間と自然（環境）とが相互に依存しあっている緑地空間について学びます。講義項目は、総論、演習、造園の計画・設計、計画と設計基礎、各造園の計画・設計などです。	1	30	2	○		△
	○	絵画演習	建築デザインするためにというだけにとどまらない、造形態としての人体を基本モデルとします。客観的描写を実践することによって、造形を原理的に理解しながら学びます。	1	60	2	△	○	

○	地盤工学	地盤のみにとどまらず基礎構造まで含む工学を学びます。講義項目は地盤工学で何を学ぶか、地盤の基本性質、設計、区域その設計、側圧を受ける建造物、総合まとめなどです。	2	30	2	○	△	
○	構造解析	体積や面積のある部材の力学状態を推定するための基礎的概念とその技法の理解を目的として学びます。講義項目は連続の基礎、2次元問題、応用関数、応力関数の演習、有限要素法の基礎、有限要素法の解法、有限要素法の演習などです。	2	30	2	○	△	
○	構造計画	各種建築物の構造計画法全般にわたって学習します。講義項目は、建築構造の基本的性質・構造材料の力学的性質・創造材料の選択と計画・耐震構造の計画などです。	2	30	2	○	△	
○	コンピュータⅢ (建築 CG・建築 ADT)	情報化社会で必要とされる技術やインターネットの基礎知識を習得します。また、各自の作品を Web ページに掲載するための技術を学びます。	1	60	4	△		○
○	都市計画	現代の都市空間を理解するために、都市形成の歴史を学びます。講義項目は西洋都市建築史の概観、日本都市建設史西洋近世都市の特徴、近代市街地形成、我が国の市街地建設動向、講義の総括などです。	2	60	4	○		
○	防災工学	建築基準法の特認にみる防災性能評定や、高層・大規模建築に必要な防災計画評定などの建築防災計画について学びます。	2	30	2	○		
○	測量実習	建築物の敷地の平面測量、高低測量に関して、実技を中心に学びます。講義項目は、距離、トランシット、トラバース、平板、水準等の測量及び誤差、面積、土積です。	2	60	2	△		○
○	マーケティング	事業経営に必要な基本的知識の他、社会一般の経済の仕組みなどについて幅広く学びます。	1	30	2	○		
○	コーディネーション	インテリアエレメント中心に、顧客一人ひとりに対面して、要望を聞きとり、具体的なかたちとして提案する技法及びその知識を学びます。	2	30	1	△	○	
○	コンサルティング	コンサルティングの意味と意義、必要とされる知識や能力について幅広く学びます。	2	30	2	○		
○	プレゼンテーション	クリエイターとしての表現力を養成します。プロジェクターを使ったパソコンでの表現・スピーチ・パネル・モデリング等について学習します。	2	30	1	△		○
○	コンピュータⅡ (情報リテラシー)	Word・Excel・Power Point (Microsoft Office) を使用して、仕事で必要となる見積書・企画書やプレゼンなどを作成する技法を学びます。また、Photo shop を使用して、画像加工方法も学びます。	1	60	2	△		○

○	コンピュータⅢ（建築CG・建築ADT）	情報化社会で必要とされる技術やインターネットの基礎知識を習得します。また、各自の作品をWebページに掲載するための技術を学びます。	2	120	4	△	○
○	CG概論	情報化社会で必要とされる技術やインターネットの基礎知識を習得します。また、各自の作品をWebページに掲載するための技術を学びます。	2	60	2	△	○
○	ボランティア概論	ボランティアの概論、活動する上での必要な知識を学びます。講義項目はボランティア活動をどうとらえるか、ボランティアは何を課題にするか、住宅福祉活動のすすめかた、アクション型ボランティアの実際、ボランティア・グループの運営などです。	2	30	2	○	
○	CADシステム	設計・製図業務等に従事するにあたりCADシステムを運用・管理するために求められる知識及び関連業務動向の知識を学びます。講義項目はCADシステム概論・運用、製図の知識（第三角法・投影法など）、3DCAD基礎知識などです。	2	60	2	△	○
○	心理学・環境・色彩	「環境心理」の基本的な骨組をそれぞれ特論的に考察します。また、色彩のもつ心理的効果を活用した配色技術や色彩の調和のあり方及びその行動に関することを学びます。講義項目は環境と人体、視環境の心理学、空間と人間行動、環境の社会心理学などです。	1	60	4	○	△
○	高齢化対応リフォーム	高齢化に伴い、高齢者のための配慮がなされた一般住宅や、専用の居住施設の需要は急増しています。そのことに関することを学んでいきます。	1	60	2	○	△
○	ケアワーク概論・技術	高齢者の自立をどう援助するか、介護福祉サービスを学びます。講義項目は、介護施策の動向、介護の働き、介護を必要とする人間の理解、介護に関わる関係職種などです。	2	60	4	○	△
○	バリアフリー住宅設計	高齢社会におけるバリアフリーの概念から住宅設計、住居学を学びます。講義項目は、概論、バリアフリーの基本、住宅の計画と設計、公共建築の計画と設計、バリアフリー住宅の演習、バリアフリー公共建築設計の演習などです。	2	60	2	○	△
○	地域社会福祉論	高齢社会の社会的背景、地域の福祉や制度について学びます。講義項目は現代社会におけるコミュニティと地域福祉、地域福祉の理念とその展開、地域福祉のサービス体系、地域福祉の推進方法、地域福祉の実際、地域福祉の相談援助活動などです。	2	30	2	○	
○	福祉機器	住宅ケアの現場に見る機器の活用及び役割を学びます。講義項目は総論、移動実践編、日常生活動作実践編、入浴実践編、排泄実践編、更衣・整容実践編、寝たきり介護実践編、ADL・コミュニケーション実践編などです。	2	30	2	○	

○	福祉・建築学	在宅介護サービスの拡充と住宅環境設備を実現して行くうえで、高齢者や障害をもった人々の心身特性や、介護などの専門知識を学びます。さらに建築の知識や技術を持って、的確に対応できる技術者やコーディネーターになるための知識を習得します。	2	30	2	○		
合計			56 科目	2880 単位時間(137 単位)		

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
日本理工情報専門学校	昭和52年4月1日	瓶井 修	〒533-0015 大阪市東淀川区大隅 1-1-25 (電話) 06-6329-6553			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人瓶井学園	昭和58年9月26日	瓶井 剛	〒533-0011 大阪市東淀川区大桐2丁目6-6 (電話) 06-6329-6553			
目 的	二級自動車整備士の取得が目標であり、その資格を活かせる職業に就くことができる技術者の育成を目的としている					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	自動車整備科	2年(昼間部)	2380単位時間 (又は単位)	平成19年文部科学大臣告示20号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	704単位時間 (又は単位)	272単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	1404単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	62人	3人	7人	10人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日 ■			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 年間4回の定期試験 実習・演習の評価	
長期休み	■学年始め：4月15日 ■夏 季：7月21日～8月31日 ■冬 季：12月25日～1月7日 ■学 年 末：3月15日 ■学年始め：			卒業・進級条件	履修科目の全単位取得	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡・警告文送付・保護者懇談			課外活動	■課外活動の種類 電力施設見学 ■サークル活動 (有・無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 自動車整備業 ■就職率 ^{※1} 90% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} 100% ■その他(任意) (平成27年度卒業者に関する平成28年3月時点の情報)			主な資格・検定	二級自動車整備士	

中途退学の現状	<p>■中途退学者 5名 ■中退率 8.1%</p> <p>平成27年4月1日在学者 62名（平成27年4月入学者を含む） 平成28年3月31日在学者 57名（平成28年3月卒業者を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 経済的理由、病気、家庭の事情</p> <p>■中退防止のための取組 1時間目に欠席学生の自宅に電話し登校を促す。成績不振の学生への補習授業の実施 退学希望の学生に対し担任・責任者等3名以上が順に面談し翻意を促す</p>
ホームページ	URL: http://www.nrj.ac.jp

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

マツダ(株)等の企業においてヒヤリングを行い教育課程編成委員会に諮り、企業のニーズに応える事ができる人材の育成に必要な内容を授業に反映させている。また、企業による実務に必要な知識習得のための演習や現場における体験実習を重視し授業科目に組み入れ易くするため授業時間割を1カ月ごとに組み替えるようにしている。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年4月2日現在

名 前	所 属
清水 政仁	一般社団法人情報通信エンジニアリング協会
小島 孜	公益社団法人 日本建築家協会近畿支部
糸尾 武則	自動車整備振興会高槻・三島地区会
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合
小林 敬一郎	神戸医療福祉大学
小西 敏仁	ネットヨタニューリー北大阪株式会社
宮崎 吉雄	トナミ電工(株)
宮崎 一郎	トナミ電工(株)
増南 正	(有) スタジオ・マックス
石上 芳弘	インウエヨシヒロ建築設計事務所
井端 賢次	テクノメック合資会社
篠原 史規	(有) 車楽工房
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社
壺井 啓太	株式会社ジェイファスト

(開催日時)

平成27年度

平成28年度

第1回 平成27年4月4日 13:30~15:00

第1回 平成28年4月2日 13:30~14:50

第2回 平成27年10月31日 13:30~14:50

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実務に必要な知識習得のための演習や現場における体験実習をできる限り組み入れ、学生が就業するであろう業界の実務の仕組みや技術レベルを知り、より適性のある職業を学生が選択でき実社会で活躍できることを望んでいる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
自動車検査	ワゴンRの点検実習を校内実習室において行う。	株式会社スズキ自販近畿
性能	自動車のカスタマイズ業務の実際を学ぶことが目的であり、ユーノスロードスターの車体・エンジンのカスタマイズ実習を行い、レース場でチューニング度合いを確認しながら走行実習を行う。教育課程編成委員会の意見により、走行場を名阪スポーツランドから舞洲スポーツアイランド・フリースペースに変更した。	有限会社 車楽工房
自動車検査	マツダ車の点検実習を校内実習室において行う。	大阪マツダ販売株式会社
自動車検査	スバル車の点検実習を校内実習室において行う。	大阪スバル株式会社

3. 教員の研修等	
(教員の研修等の基本方針) (一社)大阪府専修学校各種学校連合会の主催する教職員のための指導力向上講座や外部団体・企業・大学等が主催する講習、講演について事務局が全員に周知・奨励を行っている。 希望者がいない場合は担当課長が指名して参加者を決める。 参加費用は全額学校が負担している。	
4. 学校関係者評価	
(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)	
平成28年4月2日現在	
名 前	所 属
宮崎 吉雄	トナミ電工(株)
増南 正	(有)スタジオ・マックス
小島 孜	公益社団法人 日本建築家協会近畿支部
石上 芳弘	イシウエヨシヒロ建築設計事務所
蔵敷 重壽	元 大阪市教育委員会事務局 高等学校教育課長
篠原 史規	(有) 車楽工房
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社
壺井 啓太	株式会社ジェイファスト
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合
(学校関係者評価結果の公表方法) ホームページに公表 URL: http://www.nrj.ac.jp	
5. 情報提供	
(情報提供の方法) ホームページ・学校案内 URL: http://www.kamei.ac.jp/	

授業科目等の概要

(工業専門課程自動車整備科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			エンジン構造	ガソリン・ディーゼルエンジンの基本構造を主体とし、各装置ごとにも構造・機能を学習します。また、二輪自動車特異の構造・機能も学習します。	1	58	2	○		
○			シャシ構造	自動車が「走る」、「止まる」、「曲がる」ための原理と自動車に要求される性能、装置の構成及び安全装置について学習します。	1	34	1	○		
○			電装構造	自動車には数多くの電装品が使用されています。各装置の役目及び構造・作動のあらましについて学習します。	1	32	1	○		

○		力学	自動車に関係の深い、熱、力、仕事とエネルギー、圧力と応力について基礎的な原理・法則を学び、ボルト、ナット、ベアリング、ギヤなど多くの機械要素を学習します。	1	34	1	○		
○		電気工学	電気回路図、オームの法則などの基本となる電気の理論を学習します。	1	34	1	○		△
○		電子工学	半導体の基礎を学び電子回路を分かりやすく講義します。	1	20	1	○		△
○		材料	自動車には多様な種類の材料が使用されています。それぞれの材料の性質を学習します。	1	14	1	○		
○		燃料・潤滑剤	自動車に使用されている燃料と潤滑剤の種類、性質、用途などの基礎知識を学習します。	1	16	1	○		
○		製図	JISの機械製図を中心に、一部電気製図について学び、自動車整備士として必要な製図についての一般知識を学習します。	1	14	1	△		○
○		エンジン整備	ガソリン・ディーゼルエンジンの分解・組立て及び、点検・修正の要点を学習します。	1	34	1	○		
○		シャシ整備	自動車が「走る、止まる、曲がる」ための各装置及び、安全装置の点検・測定・調整、並びに分解、組立ての要点を学習します。	1	38	1	○		
○		電装整備	各電装品の作動具合の点検・調整及び、電子化された各部装置の機能、性能を学び、基礎整備作業の要点を学習する。	1	46	1	○		
○		整備作業機器	分解・組立て、部品交換などの基本作業に用いられる主な工具、機器類の用途、種類と構造及び、使用法について学習する。	1	12	1	○		
○		測定機器	主として長さ、振れ、曲がり、すき間などの計測する測定器について学習する。	1	12	1	○		
○		検査機器	自動車の検査に使用する各種機器の用途、構造及び使用法について学習する。	1	10	1	○		

○		手仕上げ工作	バイス、ヤスリ、弓のこを使用して、工作作業を行う。	1	12	1	△		○
○		機械工作	バイス、卓上ボール盤、タップ、ダイスを使用して、機械工作を行う。	1	12	1	△		○
○		基本計測	測定機器を使用して、長さ、すき間、振れ、曲がりなどを測定器の取扱に十分注意し、正確に計測を行う。	1	48	1	△		○
○		エンジン基礎 ガソリン	エンジンのオーバーホールをすることにより、レシプロエンジン本体の構造・機能を徹底的に学びます。	1	152	4	△		○
○		エンジン基礎 ディーゼル	小型ディーゼルエンジン燃焼室の確認、インジェクションポンプ構成部品の確認、インジェクションノズルの噴霧状態、噴射開始圧力の点検、調整方法を学習します。	1	40	1	△		○
○		シャシ基礎	動力伝達装置（クラッチ、トランスミッション、プロペラシャフト、ドライブシャフト、ディファレンシャル）の分解、点検、組立ての要点を実施しながら学習します。	1	160	4	△		○
○		二輪自動車基礎	エンジンの点検、調整、クラッチの状態の良否判定・点検・調整、ブレーキの点検・調整方法等のの要点を学習します。	1	48	1	△		○
○		電装基礎	バッテリーの取扱い、スタータ、オルタネータの作動、点検要領及び、点火装置の点検、調整方法の要点を学習します。	1	208	5	△		○
○		ビジネスリテラシー	挨拶、電話応対等の一般常識を学びます。	1	68	2		○	△
○		情報リテラシー	コンピュータの基本を学習します。	1	68	2		○	△
○		エンジン構造	ガソリン・エンジンの燃焼方式及び、バルブタイミングを学びエンジンの燃焼過程、排気ガスの発生過程と、その浄化対策について学習します。	2	42	2	○		△
○		シャシ構造	オートマチック・トランスミッション、ディファレンシャル、エア・サスペンション、ステアリング装置等の構造・機能を学習します	2	38	1	○		△

○			電装構造	自動車及び二輪自動車の半導体特性、バッテリー、スタータ、オルタネータ、点火装置の、目的と構造・機能・性能を学びます。	2	30	1	○		△
○			性能	転がり抵抗、空気抵抗、こう配抵抗、駆動力及び走行性能を学び、走行性能曲線図が理解できるよう学習します。	2	30	1		△	○
○			力学・数学	熱膨張、トルク、加速度、エネルギーについて学習します。又、ベルト・チェーン伝導、リンク機構、カム機構、てこ、について学習します。	2	46	1	○		
○			エンジン整備	オイル・クリアランスの点検方法、シリンダ、ピストンの測定方法、バルブ機構の点検方法等点検・修正方法を学びます。	2	16	1	○		△
○			シャシ整備	パワー・ステアリングの操舵力、作動の点検方法、ホイール・バランス調整、ホイール・アライメント調整、ブレーキのオーバーホールを学習します。	2	18	1	○		△
○			電装整備	バッテリーの充放電、スタータ、オルタネータの分解点検、性能試験及び、各センサの信号の測定方法と、アクチュエータの駆動と、各制御の確認方法の要点を学習します。	2	34	1	○		
○			故障原因探求	故障の種類や原因を、理解し、故障診断の基本的な流れを学ぶ。又、故障探究の方法について学び、それらの故障の主な原因について理解する。	2	34	1	○	△	△
○			ビジネスリテラシー	社会人として必要な接客マナーやディーラー業務の演習を行います	2	68	2	△	○	△
○			情報リテラシー	部品管理・修理点検票等のコンピューター処理実習を行う。また、自動車整備士以外の職業について情報を得る	2	68	2	△	○	△
○			自動車検査	点検の目的、種類、点検作業の流れ及び、検査用機器の目的、構造・機能、取り扱い要領と、安全作業の要点について学習する。	2	26	1	○		
○			自動車整備に関する法規	「道路運送車両法」、「道路運送車両の保安基準」、「道路運送車両の保安基準の細目を定める告示」等を学び、練習問題を取り入れながら学習します。	2	26	1	○		
○			エンジン応用ガソリン	レシプロ・エンジン本体のオイル・クリアランスの点検、シリンダ内径及びピストン外径の測定、ラッシュ・アジャスタの点検、燃圧等それぞれのエンジンの特長を学習します。	2	120	3	△		○

○		エンジン応用 ジーゼル	列型インジェクション・ポンプ、分配型インジェクション・ポンプの分解・組み立て及び、インジェクション・ポンプ・テストを使用し、調整方法の要点を学習する。	2	40	1	△	○
○		シャシ応用	油圧式パワーステアリングの点検、4輪アライメント・テストを使用してホイール・アライメントの点検・調整、油圧式ブレーキの点検方法の要点を学習します。	2	128	3	△	○
○		二輪自動車 応用	エンジン、トランスミッション、クラッチの分解、キャブレタの分解、点検、調整、アクセル及びサスペンションの分解、点検等の実習	2	48	1	△	○
○		電装応用	電子制御装置（圧力信号、吸入空気量信号、スロットル開度信号、アクセル・ペダル開度信号）の測定や車載電装部品の製作実習。	2	216	5	△	○
○		故障原因探 求	始動不良、アイドル不調、CO, HC 濃度が高い、電子制御式オートマチック・トランスミッションの不具合等、日常起こりえる故障を想定し、原因の探求と処置の方法を学ぶ。	2	72	2	△	○
○		自動車検査 作業	検査用機器を使用して、サイド・スリップ、ブレーキの制動力、ヘッドライト光度及び振れ、音量、スピード・メータの指示誤差及び指針の振れを、測定実習します。	2	56	2	△	○
合計				45 科目	2380 単位時間(71 単位)			

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
日本理工情報専門学校	昭和52年4月1日	瓶井 修	〒533-0015 大阪市東淀川区大隅 1-1-25 (電話) 06-6329-6553			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人瓶井学園	昭和58年9月26日	瓶井 剛	〒533-0011 大阪市東淀川区大桐2丁目6-6 (電話) 06-6329-6553			
目 的	ロボットの設計・制御技術を習得して、その技術を活かせる職業に就くことができる技術者の育成を目的としている					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	ロボットシステム科	4年(昼間部)	4056単位時間 (又は単位)		平成22年文部科学大臣告示34号
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	2028単位時間 (又は単位)	507単位時間 (又は単位)	312単位時間 (又は単位)	1755単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	0人	2人	6人	8人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日 ■			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 年間4回の定期試験 実習・演習の評価	
長期休み	■学年始め：4月15日 ■夏 季：7月21日～8月31日 ■冬 季：12月25日～1月7日 ■学 年 末：3月15日 ■学年始め：			卒業・進級条件	履修科目の全単位取得	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡・警告文送付・保護者懇談			課外活動	■課外活動の種類 電力施設見学 ■サークル活動 (有・無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 電気・機械 ■就職率※1 % ■卒業者に占める就職者の割合% ■その他(任意) (平成27年度卒業者に関する平成28年3月時点の情報)			主な資格・検定	第二種電気工事士 第一種電気工事士 工事担任者DD第一種	

中途退学の現状	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0%</p> <p>平成27年4月 1日在学者 0名 (平成27年4月入学者を含む)</p> <p>平成28年3月31日在学者 0名 (平成28年3月卒業者を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>■中退防止のための取組</p> <p>1時間目に欠席学生の自宅に電話し登校を促す。成績不振の学生への補習授業の実施 退学希望の学生に対し担任・責任者等3名以上が順に面談し翻意を促す</p>
ホームページ	URL: http://www.nrj.ac.jp

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

カワサキロボットサービス株式会社等の企業においてヒヤリングを行い教育課程編成委員会に諮り、企業のニーズに応える事ができる人材の育成に必要な内容を授業に反映させている。また、企業による実務に必要な知識習得のための演習や現場における体験実習を重視し授業科目に組み入れ易くするため授業時間割を1カ月ごとに組み替えるようにしている。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年4月2日現在

名 前	所 属
清水 政仁	一般社団法人情報通信エンジニアリング協会
小島 孜	公益社団法人 日本建築家協会近畿支部
糸尾 武則	自動車整備振興会高槻・三島地区会
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合
小林 敬一郎	神戸医療福祉大学
小西 敏仁	ネットヨタニューリー北大阪株式会社
宮崎 吉雄	トナミ電工(株)
宮崎 一郎	トナミ電工(株)
増南 正	(有) スタジオ・マックス
石上 芳弘	インウエヨシヒロ建築設計事務所
井端 賢次	テクノメック合資会社
篠原 史規	(有) 車楽工房
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社
壺井 啓太	株式会社ジェイファスト

(開催日時)

平成27年度

平成28年度

第1回 平成27年4月4日 13:30~15:00

第1回 平成28年4月2日 13:30~14:50

第2回 平成27年10月31日 13:30~14:50

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実務に必要な知識習得のための演習や現場における体験実習をできる限り組み入れ、学生が就業するであろう業界の実務の仕組みや技術レベルを知り、より適性のある職業を学生が選択でき実社会で活躍できることを望んでいる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ロボット機構学	工業用ロボットについて操作、保守、点検に関して小型ロボットを校内に搬入して実習する	カワサキロボットサービス株式会社
ロボット運動制御工学	ロボットへのファームウェアを動かすための一連の利用方法(プログラム記述のためのエディタ、プログラムのコンパイル方法、ロボットへのプログラム転送方法、実行方法など)を実習において実務に適用できる技術を習得することが目的である。人型ロボットの手・腕・足・首の動作プログラムを作成し、重心の移動・バランスの調整の効率的な手法を学び歩行動作・パフォーマンス運動を完成させる。教育課程編成委員会の意見により実習課題にパフォーマンス運動を加えた。	テクノメック合資会社

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

(一社)大阪府専修学校各種学校連合会の主催する教職員のための指導力向上講座や外部団体・企業・大学等が主催する講習、講演について事務局が全員に周知・奨励を行っている。
希望者がいない場合は担当課長が指名して参加者を決める。

参加費用は全額学校が負担している。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年4月2日現在

名 前	所 属
宮崎 吉雄	トナミ電工(株)
増南 正	(有)スタジオ・マックス
小島 孜	公益社団法人 日本建築家協会近畿支部
石上 芳弘	イシウエヨシヒロ建築設計事務所
蔵敷 重壽	元 大阪市教育委員会事務局 高等学校教育課長
篠原 史規	(有) 車楽工房
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社
壺井 啓太	株式会社ジェイファスト
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合

(学校関係者評価結果の公表方法)

ホームページに公表

URL: <http://www.nrj.ac.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

ホームページ・学校案内

URL: <http://www.kamei.ac.jp/>

授業科目等の概要

(工業専門課程ロボットシステム科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技
○			物理	前期は半導体、後期は電子管の基礎的事項及び応用について学びます。項目として、電子の性質、電子放出、電子の運動、空間電荷効果、電子管、放電現象、応用として第2級陸上無線技術士試験問題が解答できる能力を身につけます。	1	78	2	○		
○			数学	因数分解、複素数の計算、2次方程式、不等式、三角関数、ベクトル、指数関数、対数関数、微分、積分などを学び、電気、電子の基礎解析に呼应し得る能力を身につけます。	1	156	4	○		
○			英語	英語教育を通して、国際感覚を身につけ、マニュアル等の未知の英文を自力で読破できる能力を身につけることが目的です。	1	78	2	○		
○			電気磁気学	静電気学及び、磁気学を中心に、クーロン力、電界、電位、静電容量、誘電体、電流と抵抗、磁界、電磁誘導、インダクタンス、磁性体を学ぶ	1	156	4	○		
○			電気回路	交流回路の導入として、直流回路を学び問題を演習します。交流については、正弦波交流、インピーダンス交流、電力、相互誘導、ベクトル軌跡等を学ぶ。	1	156	4	○		
○			電子工学	電子物理、電子回路、電子装置、電子応用の項目のうち、ここでは、電子物理、電子回路を中心に扱います。	1	156	4	○		
○			電気磁気測定	測定値の取扱、各種の指示電気計器、検流計の原理（電流、電圧、電力、位相、周波数、電気抵抗、インダクタンス、静電容量、波形、磁気）の測定法について学ぶ	1	78	2	○		
○			電気工学	第二種電気工事士国家試験科目に準じて配電理論、電気機器、工具、材料、施工法、法規、配電図、鑑別等を学びます。	1	78	2	○		
○			デジタル回路	デジタル回路の基礎である論理回路について学びます。基本項目としては、基数の変換、各種コード、ブール代数、KARNAUGH図法、各種組み合わせ論理回路について学ぶ	1	78	2	○		△

○		伝送理論	通信について概論的に講義を進めます。内容は、電送理論、電話機理論、通信網、交換方式、変調方式、中継方式、各種搬送電話方式（光ファイバーケーブルを含む）などの講義を行います。	1	39	1	○		△
○		ネットワーク技術	コンピュータに電気通信回路を接続して、データ処理とデータ伝送を一体として行う方式の基礎について学びます。	1	39	1	△		○
○		情報セキュリティ	ネットワークへの不正侵入、不正操作等による財産の破壊や個人情報の流出などの脅威から守るためには、脅威の分析結果にもとづき、備えるべきセキュリティーについて学びます。	1	39	1	○		△
○		電気通信事業法	電気通信事業の運営を適正かつ合理的なものとし、電気通信の円滑な提供を確保することを目的について学習します。	1	39	1	○		
○		情報工学Ⅰ	計算機の基礎構成や動作の仕組みについて、ハード／ソフトの両面およびプログラムの作り方、Microsoft Word 及び Excel を用いて課題作成やプログラム制作も行います。	1	78	2	△		○
○		情報工学Ⅱ	産業用ロボットなどを含む知能ロボットをマイコン制御するための技術とインターフェースの設計方法 やデータ通信方法を実習を通して学習します。	2	78	2	△		○
○		システムプログラム	アルゴリズムの概念を基礎にC言語によるプログラミング法を学びます。	2	78	2			○
○		メカニカルCAD	メカニカルCADソフトを使用し、作図法やCADのための図形処理技法について実習しながら学びます。	2	78	2			○
○		製図学	三角法、投影法などの実習。また、スケッチなどを行うために、ノギス、マイクロメータの使用法も学習し、更に、トレース検定3級以上を合格するための知識も習得します。	2	78	2			○
○		制御工学	有接点シーケンス制御の基本回路について学習し、基本回路を合成した応用回路を組み上げていきます。	2	78	2		△	○
○		ロボット運動制御工学	ロボットの運動機能や位置制御法を学びます。	3	78	2	△	○	△

○		プログラマブルシーケンス	コンピュータによるシーケンス回路の実験実習を行います。	3	78	2				○
○		機械工学	機械の構成・働きはどのようなものであるか、そこに使われる材料や機械要素にはどんなものがあるかなどを基礎から最新技術まで学習します。	3	78	2	△	○	△	
○		ロボット機構学	アクチュエータ制御回路製作、駆動回路製作のハードからロボット制御、数値制御のソフトまで幅広く実験実習します。	3	78	2	△	○	△	
○		卒業研究	各自がテーマを決め4年次の1年間で研究制作を行います。	4	156	4	○	△	△	
○		実験実習	基礎専門科目において学んだ理論を、さらに実験を行う事によって具体的に理解を深めていきます。	2	156	4				○
○		実験実習	高圧電気機器の動作試験や絶縁耐圧試験を行い理論上と実際のデータとの検討を行う。	3	156	4				○
	○	Webプログラミング	Webを運用するために必要なJavaScriptやCGI/SSI技術などホームページの総合的なデザイン/プログラミングの基礎を学びます。	2	78	2				○
○		インターンシップ	学生の技術力に合わせ、企業と提携し個別にインターンシップで実践実習を行う、	3	78	2		△	○	
○		インターンシップ	学生の技術力に合わせ、企業と提携し個別にインターンシップで実践実習を行う、	4	78	2		△	○	
	○	電波法規	電波の種類、各業務の運用、無線局免許、無線従事者の免許、各局の業務書類等を学びます。	2	78	2	○			
	○	無線機器 I	AM・FMについての基本を包括的に解説します。また、電波航法について学びます。	2	39	1	○			
	○	電波工学 I	空中線系の基礎的原理及び空中線の構造などを包括的に解説します。	2	39	1	○			

○	無線測定 I	各周波数帯における測定の基礎理論及び測定器について包括的に解説します。	2	39	1	○		
○	センサー工学	センサーに関する基礎知識である原理・特性を解説し、メカトロニクスに組み込むための実装技術について学習します。	2	39	1	○		
○	Windows システム (MCP)	Windows システムをコンピュータにインストールし、システムや各種設定について学びます。また、マイクロソフト認定のMCP資格取得を目指します。	2	39	1	○		△
○	UNIX I	オペレーティングシステムのUNIX I について学びます。	2	156	4	△		○
○	マイクロコンピュータ IT 技術	マイクロコンピュータの基本構成と動作原理について学習します。	2	156	4	△		○
○	ヒューマンインターフェイス	産業用ロボットなどをマイコン制御するための技術とインターフェースの設計方法やより人間が扱いやすい操作機能を学習します。	2	39	1		○	
○	デジタル設計	演算回路や記憶回路など、実際に使用されるデジタル回路の設計制作を学習します。	2	78	2			○
○	ネットワークシステム (CCNA)	ネットワークの概要、基本構成、プロトコル、接続法の基礎などを学びます。	2	78	2	△		○
○	ベーシックテクノロジー	ロボットを製作するにあたり、基礎となる技術を学びます。	2	39	1	○		
○	NC工学	NC機器に関する原理と構造、制御方法、サーボシステムの設計手法を学びます。	3	39	1	○		△
○	超音波工学	センサーに応用される超音波の諸特性について学習します。	3	39	1	○		
○	音声合成技術	A/D変換・D/A変換などを学び、音声のデジタル技術を学びます。	3	39	1	○		△
○	福祉機械論	最近では、福祉ロボットの開発が望まれています。福祉ロボット（福祉機器）を開発する上で必要となる福祉の知識を学ぶ。	3	78	2	○		

○	バイオメカニクス	ロボット技術が、どのような形でバイオ分野に应用されているかを学びます。	3	78	2	○			
○	アニメーション制作	ロボットをトータルコーディネートできるようにアニメーションを通して表現方法を学びます。	3	78	2	△		○	
○	3Dグラフィックス	CGを使用して、機械的な運動を表現します。	3	78	2	△		○	
○	ナノテクノロジー	精密技術について学びます。	3	78	2	○			
○	バーチャルテクノロジー	機械的な動きを、進化させる技術を学びます。	3	78	2		○	△	
○	エネルギー工学	火力、太陽光、原子力等エネルギー資源の活用について学習します。	3	78	2	○			
○	マイクロアクチュエータ	ステッピングモーター等の回転機器のコンピュータ制御について学習します。	3	78	2	△		○	
○	ロボット設計	ロボットを設計するにあたり、必要な技術を学びます。	4	78	2		○	△	
○	ロボットデザイン製図学	製図技術を学びます。	4	78	2			○	
○	知能ロボット工学	AI 技術を学びます	4	78	2	△	○		
○	自動車工学	エンジンを中心とした、自動車の構造とカーエレクトロニクスについて学習します。	3	156	4	△		○	
合計			56 科目		4602 単位時間(112 単位)				

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
日本理工情報専門学校	昭和52年4月1日	瓶井 修	〒533-0015 大阪市東淀川区大隅 1-1-25 (電話) 06-6329-6553			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人瓶井学園	昭和58年9月26日	瓶井 剛	〒533-0011 大阪市東淀川区大桐2丁目6-6 (電話) 06-6329-6553			
目 的	第二種電気工事士免状、第三種電気主任技術者免状の取得を目指し、その資格を活かせる職業に就くことができる技術者の育成を目的としている					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	電気工学科	2年(夜間部)	1800単位時間 (又は単位)	平成14年文部科学大臣告示19号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	900単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	400単位時間 (又は単位)	500単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	21人	4人	5人	8人		
学期制度	■1学期：4月1日～9月30日 ■2学期：10月1日～3月31日 ■3学期：			成績評価	■成績表(有)無 ■成績評価の基準・方法について 年間4回の定期試験 実習・演習の評価	
長期休み	■学年始め：4月15日 ■夏 季：8月1日～8月20日 ■冬 季：12月25日～1月7日 ■学 年 末：3月15日			卒業・進級条件	履修科目の全単位取得	
生徒指導	■クラス担任制(有)無 ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡・警告文送付・保護者懇談			課外活動	■課外活動の種類 電力施設見学 ■サークル活動(有)無	
就職等の状況	■主な就職先、業界等 電気設備管理・電気工事業 ■就職率※1100% ■卒業者に占める就職者の割合※2 100% ■その他(任意) (平成27年度卒業者に関する平成28年3月時点の情報)			主な資格・検定	第二種電気工事士 第一種電気工事士 第三種電気主任技術者	

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 1名 ■中退率4.8%</p> <p>平成27年4月1日在学者 21名（平成27年4月入学者を含む） 平成28年3月31日在学者 20名（平成28年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 仕事が多忙になり登校できなくなる。転勤により登校できなくなる。</p> <p>■中退防止のための取組 土曜日・日曜日における補習授業の実施</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://www.nrj.ac.jp</p>

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

電気工事工業組合や東洋ビルメンテナンス(株)等の団体・企業においてヒヤリングを行い教育課程編成委員会に諮り、企業のニーズに応える事ができる人材の育成に必要な内容を授業に反映させている。また、企業による実務に必要な知識習得のための演習や現場における体験実習を重視し授業科目に組み入れ易くするため授業時間割を1カ月ごとに組み替えるようにしている

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年4月2日現在

名 前	所 属
清水 政仁	一般社団法人情報通信エンジニアリング協会
小島 孜	公益社団法人 日本建築家協会近畿支部
糸尾 武則	自動車整備振興会高槻・三島地区会
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合
小林 敬一郎	神戸医療福祉大学
小西 敏仁	ネッツトヨタニューリー北大阪株式会社
宮崎 吉雄	トナミ電工(株)
宮崎 一郎	トナミ電工(株)
増南 正	(有) スタジオ・マックス
石上 芳弘	イシウエヨシヒロ建築設計事務所
井端 賢次	テクノメック合資会社
篠原 史規	(有) 車楽工房
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社
壺井 啓太	株式会社ジェイファスト

(開催日時)

平成27年度

平成28年度

第1回 平成27年4月4日 13:30~15:00

第1回 平成28年4月2日 13:30~14:50

第2回 平成27年10月31日 13:30~14:50

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実務に必要な知識習得のための演習や現場における体験実習をできる限り組み入れ、学生が就業するであろう業界の実務の仕組みや技術レベルを知り、より適性のある職業を学生が選択でき実社会で活躍できることを望んでいる。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
電力技術	<p>高圧受電設備の保守点検の方法を体験するのが目的であり、学園の所有する高圧受電設備の点検作業を主任技術者の指導のもとに2名単位で実習する。</p> <p>教育課程編成委員会において高圧受電設備の点検は、活線近接作業となり危険を伴うので通常は絶縁用保護具としてヘルメット・絶縁ゴム手袋を着用して行うが、学生の場合は万一の事故に備えて絶縁上衣も着用させるほうが安全であるとの意見があり着用を義務づけることとなった。</p>	<p>有限会社 京極電気</p>

電気実習	設計図書に基づいた施工図面・施工要領書の作成演習を行う。 実際の施工図面・施工要領書に基づいた工事が的確にできるようになるため、図面の読み取り方法、品質の高い施工方法を実習する。 教育課程編成委員会において施工図面・施工要領書の作成演習を行った方が良いとの意見があり演習を組み入れることとなった。	トナミ電気(株)
電子回路理論	シーケンス制御における回路の設計業務について必要な知識・技術を学び現場と同等の仕事の流れを体感し、設計業務の実際を学ぶことが目的であり、拾い出し表作成業務の演習・回路図面の作成・回路組み立ての実習を行う	大保電子工業
電気機械技術	山崎インターの電気設備の保守点検、測定器の整備点検とその使用方法	株式会社ジェイファスト

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

(一社)大阪府専修学校各種学校連合会の主催する教職員のための指導力向上講座や外部団体・企業・大学等が主催する講習、講演について事務局が全員に周知・奨励を行っている。

希望者がいない場合は担当課長が指名して参加者を決める。

参加費用は全額学校が負担している。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

名 前	所 属
宮崎 吉雄	トナミ電気(株)
増南 正	(有)スタジオ・マックス
小島 孜	公益社団法人 日本建築家協会近畿支部
石上 芳弘	イシウエヨシヒロ建築設計事務所
蔵敷 重壽	元 大阪市教育委員会事務局 高等学校教育課長
篠原 史規	(有) 車楽工房
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社
壺井 啓太	株式会社ジェイファスト
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合

平成28年4月2日現在

(学校関係者評価結果の公表方法)

ホームページに公表

URL: <http://www.nrj.ac.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

ホームページ・学校案内

URL: <http://www.kamei.ac.jp/>

授業科目等の概要

(工業専門課程電気工学科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			数 学	電気回路、電子回路等の計算に必要な数学を学習します。	1 通	80	4	○		
○			物 理	力、仕事、熱、ベクトルの計算、エネルギー計算を学習します。	1 通	80	4	○		
○			電気回路理論	回路網に関する諸定理を学習します。	1 通	80	2	○		
○			電気磁気学	電磁エネルギーや物質中の電磁界を学習します。	1 通	80	2	○		
○			電子計測	測定機器の取り扱いや原理を学習します。	1 通	80	2	○		
○			電力技術	発電、送電、変電及び電気エネルギーについて学習します。	1 通	80	2	○		
○			電気機械技術	直流機、三相誘導電動機及び変圧器の特性や原理を学習します。	2 通	160	4	○		△
○			電気機器設計製図	変圧器、電動機、制御用機器等の構造を学び、製図を行う。	2 前	40	1			○
○			電気法規	電気工事士・電気主任技術者に必要な電気法規を学習します。	2 後	40	1	○		
○			電子回路理論	半導体素子、増幅回路、整流回路、制御回路等を学び、かつ実験・実習でその動作を確認します。	1 通	80	4	○		△

○			情報工学	コンピュータの基本操作、アプリケーションプログラム等を学習します。	1 前	40	1	△		○
○			情報工学	応用プログラムによる実習及びホームページ作成の基本について学習します。	2 通	120	3	△		○
○			電気製図	屋内配線図や電気系統の図面を作成します。	1 通	40	1	△		○
○			CADシステム	CADシステムを使用して、図面設計の基礎や応用を学習します。	2 通	80	4			○
○			ロボット工学	ロボットの運動機能や位置制御を学習します。また、ロボット制御、数値制御のソフトまで幅広く実験実習します。	2 後	40	2	△		○
○			デジタル回路	デジタルICを使って回路を組み、ICの特性を学習します。	2 通	80	4	△		○
○			電気基礎実験	電気・電子用の測定器を使用し、実際に各テーマのデータを取り回路網について検討実験を行う。	1 通	160	4	△		○
○			電気応用実験	高圧電気機器の動作試験や絶縁耐圧試験を行い理論上と実際のデータとの検討を行います。	2 通	240	6	△		○
○			電工実習	電線接続、コンセント、照明器具及び配線器具を使って屋内配線の実習を行います。また、現場における実務的な関連知識・実技についても習得します	1 通	20	1	△	△	○
○			第二種電気工事	配電理論、機器、材料、施工方法、法規、検査、配線図等についてポイント的に説明する。また、電気工事の現場で必要とされる工程管理、安全管理等の施工技術を学ぶ。	1 前	40	2	○	△	△
○			第一種電気工事	第一種電気工事士国家試験の学科に出題される内容で配電理論、機器、材料、施工方法、法規、検査、配線図等についてポイント的に説明すると同時に現場における実務的な関連知識・実技についても習得します	1 後	40	2	○	△	△
○			オペアンプ工学	オペアンプを使って回路を組み、オペアンプの特性を学習します。	2 前	40	2	△		○

○		演習	国家試験対策の模擬問題等を行い実力を把握します。	2 通	60	3	○	△	
合計			23 科目	1800 単位時間 (61 単位)		